

研究要約

目的：

早期変形性膝関節症（early KOA）患者の超音波所見の特徴と、各所見と KOOS（Knee Injury and Osteoarthritis Outcome Score）サブスケールの関連を明らかにすることである。

対象と方法

レントゲン画像上の変形はないが膝内側に疼痛がある early KOA 患者 98 名（男性 35 膝，女性 63 膝， 60.3 ± 11.5 歳）を対象とした。超音波診断装置で、膝蓋上嚢の滑膜増生、関節水腫、内側半月板水平断裂、大腿骨・脛骨内側骨棘、膝蓋上嚢・内側側副靱帯滑液包・膝蓋下脂肪体の血流シグナル、仰臥位・立位の内側半月板逸脱量（MME）、MME の変化量を観察した。

結果

膝蓋上嚢の滑膜増生（ $r < -0.20$ ）と立位 MME（ $r < -0.24$ ）が全 KOOS サブスケールと有意な相関を示し、関節水腫は 4 つの KOOS サブスケールと相関があった。関節水腫（ $r > 0.25$ ）と立位 MME（ $r < -0.21$ ）の 2 つは KOOS サブスケールの一部と独立して相関を認めた。

結論

early KOA 患者の生活の質は膝蓋上嚢の滑膜増生、関節水腫、立位 MME に関与し、なかでも関節水腫と立位 MME は独立して KOOS サブスケールと関連する可能性がある。